

<ジーコム独自調査レポート No.99>

# 福岡県居住者の2017年の暮らし向きに関する調査 結果報告書

2017年1月

# 調査概要

## 1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

## 2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

## 3. 調査時期

平成28年12月20日（火）～12月29日（木）

## 4. 調査規模

464サンプル

### 【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	215	46.3
女性	249	53.7
全体	464	100.0

■年齢	件数	構成比(%)
20代	79	17.0
30代	89	19.2
40代	100	21.6
50代	94	20.3
60代	82	17.7
70代以上	20	4.3
全体	464	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	149	32.1
公務員	17	3.6
団体職員	9	2.0
会社役員	7	1.5
派遣社員・契約社員	26	5.7
商工自営	15	3.3
農林漁業	-	-
自営手伝い	5	1.0
自由業(医師・弁護士・税理士等)	8	1.7
学生	13	2.8
パートアルバイト	71	15.3
専業主婦(主夫)	101	21.9
無職	40	8.6
その他	3	0.7
全体	464	100.0

■世帯年収	件数	構成比(%)
200万円未満	59	13.0
200～300万円未満	58	12.9
300～400万円未満	68	15.2
400～500万円未満	50	11.0
500～600万円未満	66	14.6
600～700万円未満	48	10.6
700～800万円未満	28	6.3
800～900万円未満	28	6.2
900～1000万円未満	18	4.0
1000～1500万円未満	25	5.5
1500万円以上	3	0.7
全体	451	100.0

\* 学生を除く

### 【報告書の見方】

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- 報告書中の図表では、コンピューター入力の場合、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

# 1. 暮らし向きの変化

暮らし向き判断指数は過去10年間で最高値を示し、プラスに転じた。ただし、60代以上や年収300万円未満の層では依然マイナス。

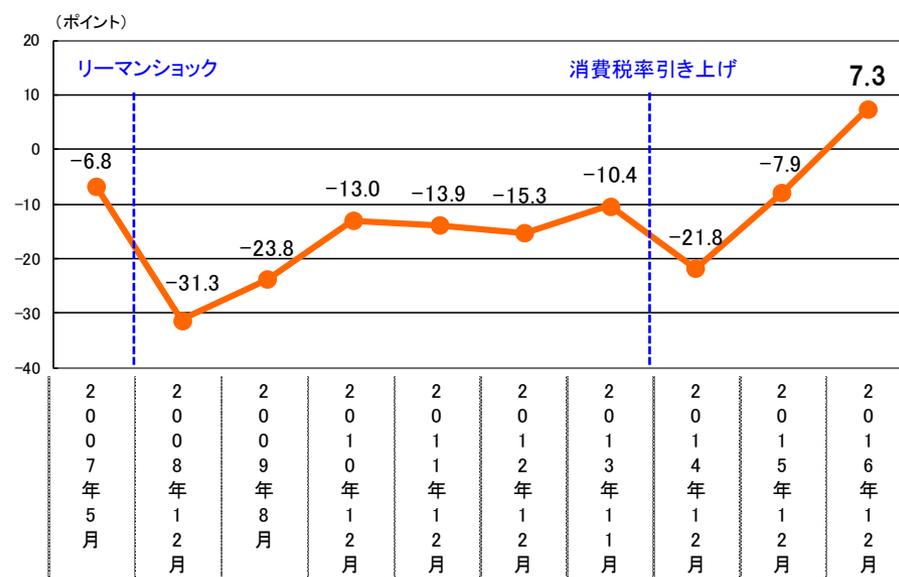
1年前と比べて、暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は、7.3ポイント。前年のマイナス7.9ポイントから大きく上昇した。前回調査と比較すると、各属性で暮らし向き判断指数が増加している。

- ・性別では、大きな違いは見られない。
- ・年代別に見ると、年代が上がるにつれて暮らし向き判断指数が低くなっており、20代と60代以上では30ポイント近くの開きがある。
- ・世帯年収別に見ると、唯一300万円未満の層は暮らし向き判断指数がマイナスである。900万円以上の層は900万円未満の層と比べて、暮らし向き判断指数が顕著に高い。

◆ 1年前と比べた暮らし向きの変化【単一回答】

◆ 暮らし向き判断指数の推移

	調査数	【%】					【%】		【ポイント】	
		良くなった	どちらかという良	どちらともいえない	どちらかという悪	悪くなった	肯定層	否定層	暮らし向き判断指数	暮らし向き判断指数
全体	464	6.2	17.2	60.5	12.5	3.6	23.4	16.1	7.3	-7.9
性別										
男性	215	5.2	17.4	59.0	14.6	3.8	22.6	18.4	4.2	-11.1
女性	249	7.1	17.0	61.9	10.7	3.3	24.1	14.1	10.0	-4.8
年代別										
20代	79	10.1	21.5	58.2	10.1	-	31.6	10.1	21.5	8.5
30代	89	9.1	19.6	58.3	9.9	3.1	28.7	13.0	15.7	-1.0
40代	100	6.2	16.5	62.3	9.8	5.2	22.7	15.0	7.7	-17.0
50代	94	4.7	15.8	60.7	15.5	3.4	20.4	18.9	1.5	-15.0
60代以上	102	2.2	13.6	62.4	16.5	5.3	15.8	21.8	-6.0	-14.0
世帯年収別										
300万円未満	117	3.8	13.5	61.9	13.9	6.9	17.3	20.8	-3.5	-24.0
300～500万円未満	118	4.2	15.0	62.3	17.3	1.2	19.1	18.5	0.6	-4.0
500～700万円未満	114	6.8	21.0	57.5	10.2	4.6	27.7	14.8	12.9	-6.9
700～900万円未満	56	5.7	14.1	64.8	12.4	3.1	19.7	15.5	4.2	3.4
900万円以上	46	14.5	22.8	61.1	1.6	-	37.3	1.6	35.7	0.0



\* 肯定層＝「良くなった」+「どちらかという良くなった」  
 否定層＝「悪くなった」+「どちらかという悪くなった」  
 暮らし向き判断指数＝肯定層-否定層

## 2. 暮らし向きが良くなった理由 ※暮らし向き肯定層限定

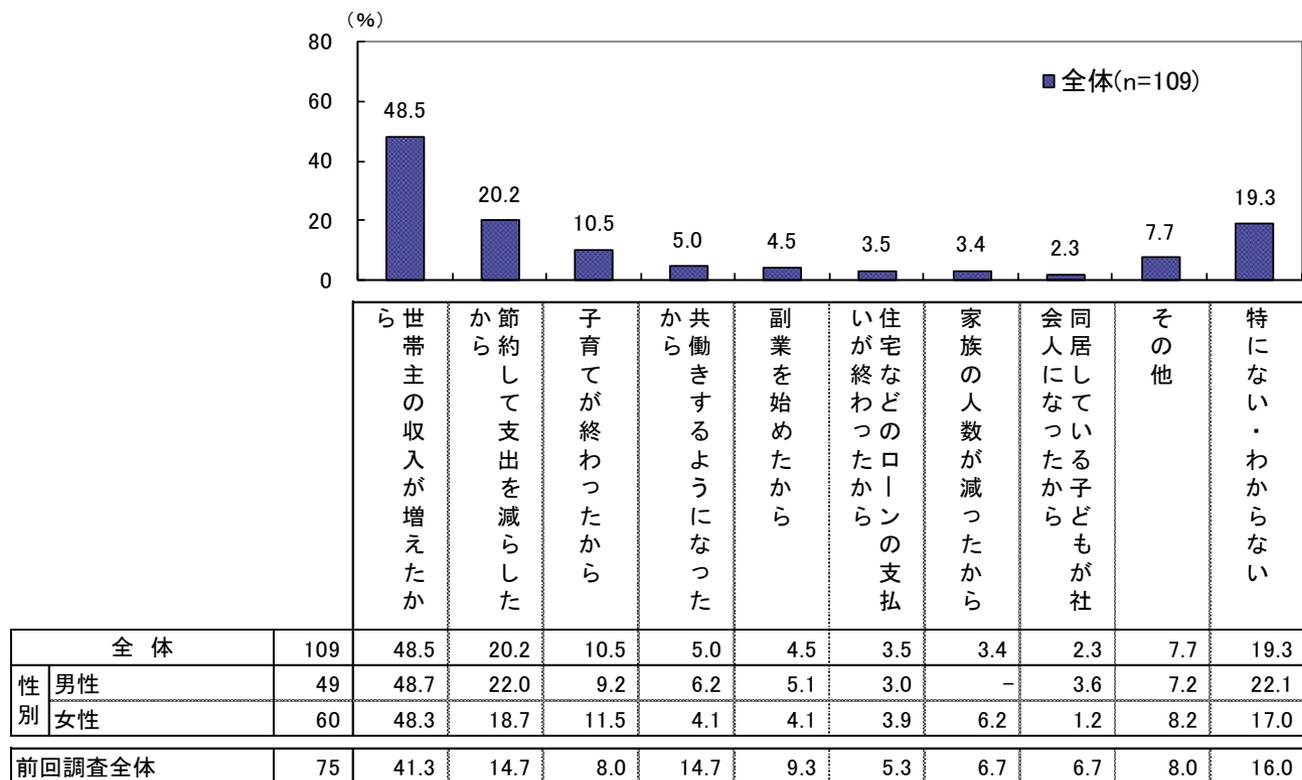
### 暮らし向きが良くなった理由は、「世帯主の収入増」が約5割。

1年前と比べて、暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が増えたから」の割合が48.5%で最も高く、次いで「節約して支出を減らしたから」20.2%、「子育てが終わったから」10.5%の順であった。

・性別では、大きな差は見られない。

※年代別、世帯年収別の分析は、サンプル数が少ないため省略した。

◆暮らし向きが良くなった理由【複数回答】



### 3. 暮らし向きが悪くなった理由 ※暮らし向き否定層限定

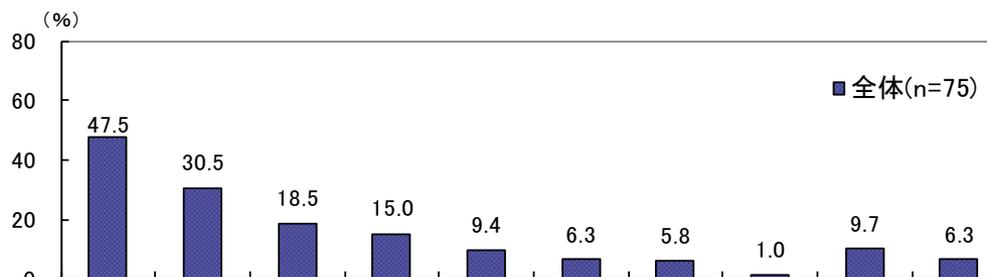
#### 暮らし向き悪化の理由は「世帯主の収入減」と「消費税率引き上げ」が2大要因。

1年前と比べて、暮らし向きが「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が減ったから」の割合が47.5%で最も高く、次いで「2014年に消費税率が引き上げられたから」30.5%、「家族の病気治療や介護が必要になったため」18.5%の順であった。

・性別に見ると、女性は男性に比べて「共働きをやめたから」「住宅などのローンの支払いが始まった(増えた)から」の割合が高くなっている。

※年代別、世帯年収別の分析は、サンプル数が少ないため省略した。

◆暮らし向きが悪くなった理由【複数回答】



調査数		世帯主の収入が減ったから	2014年に消費税率が引き上げられたから	家族の病気治療や介護が必要になったため	教育費が増えたから	共働きをやめたから	住宅などのローンの支払いが始まった(増えた)から	別居している家族への送りが必要になったから	家族の人数が増えたから	その他	特にない・わからない	
全体		75	47.5	30.5	18.5	15.0	9.4	6.3	5.8	1.0	9.7	6.3
性別	男性	40	49.0	34.5	18.8	15.2	2.5	-	5.1	-	12.6	4.4
	女性	35	45.8	25.9	18.1	14.8	17.1	13.5	6.7	2.1	6.5	8.6
前回調査全体		114	62.3	39.5	10.5	14.0	7.0	2.6	2.6	3.5	5.3	7.0

# 4. 2017年の暮らし向き予想

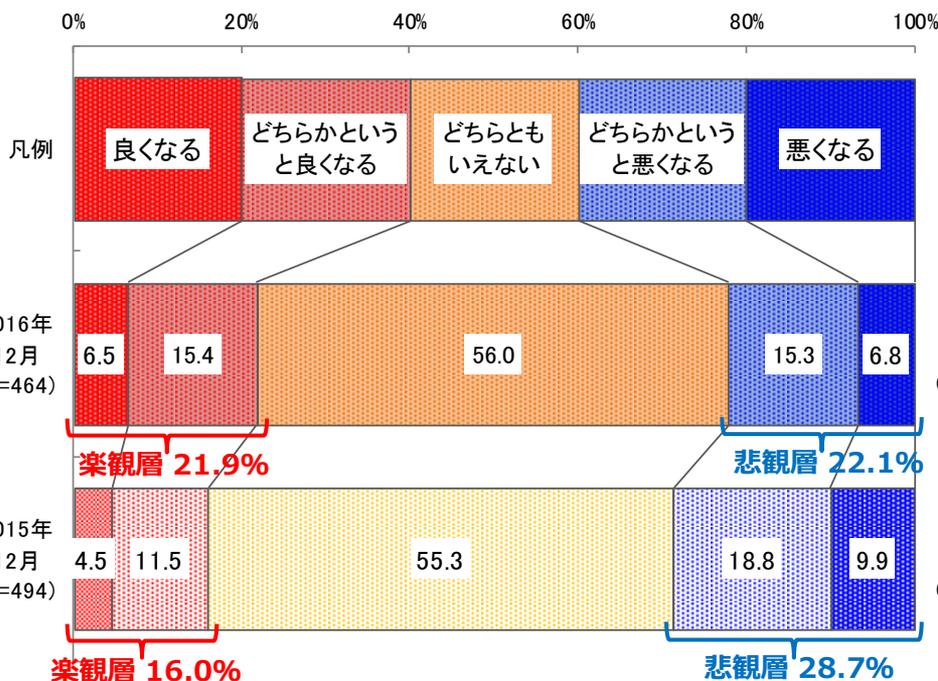
自分自身の暮らし向き予想は楽観層と悲観層の割合がほぼ同じなのに対し、世の中の景気予想については悲観層の割合が高い。

2017年の『自分自身の暮らし向き』について、「良くなる」「どちらかという良くなる」と回答した楽観層の割合は21.9%、「悪くなる」「どちらかという悪くなる」と回答した悲観層の割合は22.1%となっており、大差はない。前回調査との比較では、楽観層の割合は5.9ポイント増加し、悲観層の割合は6.6ポイント低下した。

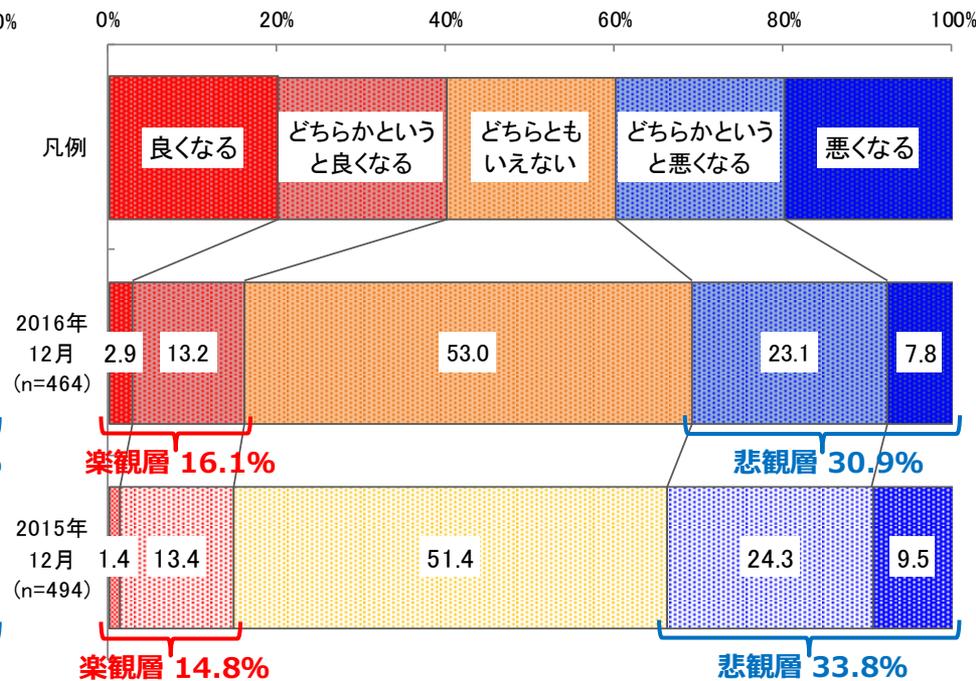
また、2017年の『世の中の景気』については、楽観層の割合は16.1%、非楽観層の割合は30.9%となっており、悲観層が楽観層を大きく上回っている。前回調査と比べると、楽観層の割合は1.3ポイント増加し、悲観層の割合が2.9ポイント低下した。

- 性別では、大きな差は見られない。
- 年代別に見ると、自分自身の暮らし向きについて、20代は楽観層、60代以上は悲観層の割合が他の年代に比べて高い。また、世の中の景気についても、60代以上は他の年代に比べて悲観層の割合が高くなっている。
- 世帯年収別では、自分自身の暮らし向きについて、900万円以上の層は楽観層の割合が高い。また、世の中の景気については300万円未満の層で悲観層の割合が高くなっている。

◆2017年の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】



◆2017年の世の中の景気予想【単一回答】



\* 楽観層 = 「良くなる」+「どちらかという良くなる」、悲観層 = 「悪くなる」+「どちらかという悪くなる」

## ◆2017年の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかという 良くなる	どちらともいえない	どちらかという 悪くなる	悪くなる	楽観層	悲観層
全体		464	6.5	15.4	56.0	15.3	6.8	21.9	22.1
性別	男性	215	6.3	16.8	55.3	14.5	7.1	23.1	21.6
	女性	249	6.6	14.2	56.7	16.0	6.5	20.8	22.5
年代別	20代	79	13.9	19.0	51.9	12.7	2.5	32.9	15.2
	30代	89	10.2	17.4	59.1	10.2	3.1	27.6	13.3
	40代	100	3.7	18.5	59.1	10.8	7.9	22.2	18.7
	50代	94	4.2	13.4	60.8	12.8	8.9	17.5	21.7
	60代以上	102	2.2	9.8	49.2	28.6	10.1	12.1	38.8
世帯年収別	300万円未満	117	3.0	12.7	55.3	20.0	9.1	15.6	29.1
	300～500万円未満	118	7.3	10.5	61.6	14.3	6.4	17.8	20.7
	500～700万円未満	114	7.0	13.7	57.9	17.3	4.1	20.7	21.4
	700～900万円未満	56	4.5	19.3	50.9	11.9	13.4	23.8	25.3
	900万円以上	46	11.9	23.8	54.6	9.7	-	35.7	9.7

## ◆2017年の世の中の景気予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかという 良くなる	どちらともいえない	どちらかという 悪くなる	悪くなる	楽観層	悲観層
全体		464	2.9	13.2	53.0	23.1	7.8	16.1	30.9
性別	男性	215	2.9	17.4	50.4	20.5	8.8	20.3	29.3
	女性	249	2.9	9.5	55.3	25.3	7.0	12.4	32.3
年代別	20代	79	5.1	8.9	58.2	21.5	6.3	13.9	27.8
	30代	89	6.0	18.0	49.1	20.8	6.1	24.0	26.9
	40代	100	-	12.6	63.0	17.0	7.4	12.6	24.4
	50代	94	1.1	16.6	48.4	27.4	6.6	17.6	34.0
	60代以上	102	3.0	9.6	46.9	28.3	12.1	12.6	40.5
世帯年収別	300万円未満	117	0.6	10.0	49.4	25.6	14.4	10.7	40.0
	300～500万円未満	118	2.7	10.1	57.6	22.0	7.6	12.8	29.6
	500～700万円未満	114	4.6	13.1	54.2	21.7	6.4	17.7	28.1
	700～900万円未満	56	2.7	21.1	48.0	24.2	4.0	23.8	28.2
	900万円以上	46	1.6	23.2	51.2	24.0	-	24.8	24.0

\* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかという良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかという悪くなる」

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL : <http://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail : [inq@gcom-net.co.jp](mailto:inq@gcom-net.co.jp)